



県立川島中学校
令和7年
1月14日



あけましておめでとうございます。新年の目標は、もう決めましたか？
何を始めるにも、目標と計画を明確に決めることが大切ですね。「一年の計は元旦にあり」ということわざもあります。もちろん、毎日元気に過ごすための「健康目標」も忘れずに。早寝早起き・手洗い・うがい・咳エチケットなど、できることから始めましょう。

また、1月より養護教諭として「藤井 智栄」が着任します。育休から復帰し、元気いっぱい頑張りますので、みなさまどうぞよろしくお願いいたします！

インフルエンザが大流行中！！出席停止期間を確認しましょう！

インフルエンザと診断された場合、出席停止となります。

「熱が出た後5日過ぎるまで、なおかつ、熱が下がった後、2日過ぎるまで」と期間が決まっています。

多くの病院で、「〇月△日〇曜日まで休んでください。」と指示があると思いますが、熱が下がらなければ、出席停止期間が延長されていきます。ただし、医師より感染のおそれがないと判断された場合には、決められた期間より早い時期に登校ができることもあります。

いずれにしても、医師の判断をよく聞き、登校について不明な点があれば、いつでもご連絡ください。また、保護者の方の記入でかまいませんので、「治療報告書」を学校に提出いただけるとありがたいです。

インフルエンザ なぜ出席停止なの？

出席停止期間
発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで
※医師が感染のおそれがないと判断した場合は、これより早い時期でも登校可能

0日目	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目
発症	発熱	解熱				登校OK!	
発症	発熱	解熱				登校OK!	
発症	発熱	解熱				登校OK!	

「解熱した後、②日を経過するまで」のわけ
インフルエンザウイルスに感染すると、1～3日の潜伏期間の後、急に発症（発熱）します。感染した人からウイルスが出るのは、発症前の1日と、発熱の期間（3～5日くらい）、そして解熱後2日間くらいです。

「発症した後、⑤日を経過」のわけ
インフルエンザの治療薬を服用すると、ウイルスが残ったままでも2日くらいで熱が下がることがあります。この場合、解熱後2日を過ぎても感染力が続くため、「発症した後、5日を経過」するまでは出席停止です。

藤井ともえ先生による とってもええ話

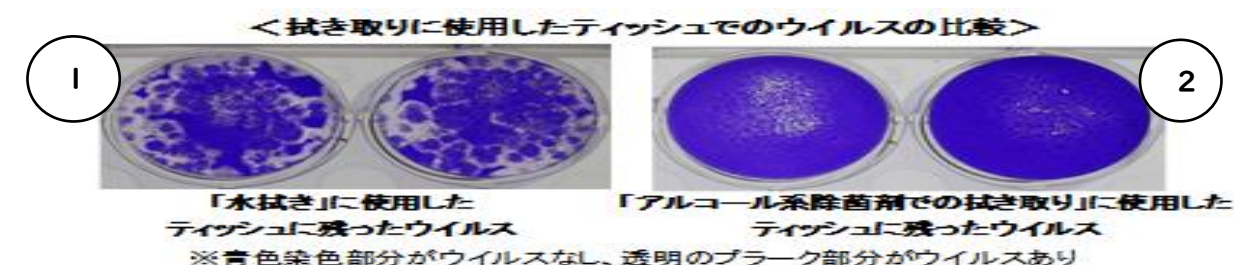
今回は、インフルエンザ対策についてのお話です。**インフルエンザの予防対策として、「手洗い・うがい・外出時のマスク・換気・栄養バランスの良い食事・規則正しい生活」**など、自分でできることがたくさんあります。学校ではインフルエンザの流行を阻止するために、教室前に**アルコール消毒スプレー**を設置しています。インフルエンザウイルスにはかなり効果があるので、ご家庭でもぜひ試してみてください。

ざいだんほうじん きたざと
財団法人 北里環境科学センターの研究より

<引用HP>

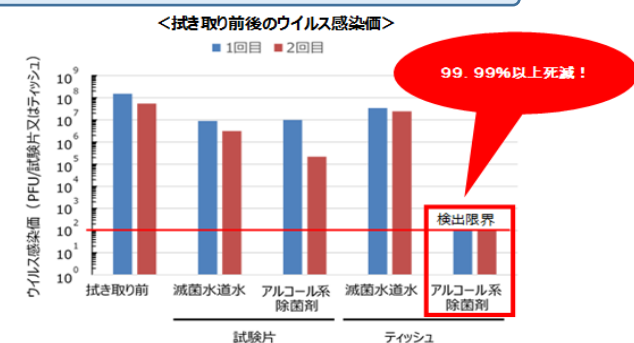
https://www.atpress.ne.jp/releases/117892/att_117892_1.pdf

インフルエンザウイルスを付着させたステンレス板を用意。そのステンレス板を①水を含ませたティッシュと②アルコール系除菌剤を含ませたティッシュのそれぞれで拭き取り、インフルエンザウイルスが除去できているかを検証した。



アルコール系除菌剤によるインフルエンザウイルス除去試験結果のポイント

- 「水拭き」のみでは、ウイルスがティッシュへ移動しただけ
- 「アルコール系除菌剤での拭き取り」に使用したティッシュに付着したインフルエンザウイルスが99.99%以上死滅！！



インフルエンザを予防するには、人の多い場所に出かけないことが大切です。しかし、お出かけをする際は、マスクを着用し、出かける前後や食事の前後にアルコール消毒をしてください。また、食卓やリビングなどの拭き掃除に、アルコール除菌を取り入れることもおすすめです。